

イノシシと出会った

日の出が早くなり、5時には明るくなる。最近は早起きをして朝一時間程度畑で作業してから出勤している。私の畑は自宅から12 kmほどはなれたところにあるので、4時30分くらいに家を出発する。到着して道具の用意をすころにはあたりは明るくなり、早朝のさわやかな空気の中で作業をするのはとても気持ちがいい。その日、畑に続く坂を上っていくと黒いかたまりがゴソゴソ動いている。「イノシシだ!!。」車から2~3メートルの近さだから、こちらに向かってはこないかと少々緊張した。イノシシも驚いたのか立ちつくしている。ほんのちょっとにらみ合いをしてイノシシは山の中にスタスタ逃げて行った。ほっとすると同時に、体長25 cmほどのうり坊がちょろちょろと道を横切り、母親を追って森の中に走って行った。母親はうり坊を守ろうか逃げようかと、ちゅうちょしたのだろう。

わたしが生まれた家の周りの山には昔からイノシシがたくさんいて、広さ十畳ほどの圃いの中にサツマイモを植え、イノシシが掘ると扉が落下するわなが常設してあった。だからわなにかかったイノシシは何度か見たことがある。しかし、最近の様子は少し変だ。2~3年に一度は出会う。それも今回は早朝、前は正午過ぎだった。前回出会ったイノシシは、体長1.5メートルはあるのではと思える巨大なもので、4メートル幅ほどの道路をポーンポーンと二歩で横切った。もののけ姫の実写版みたいだった。イノシシは元来用心深い動物らしく、子どもの頃、明るいうちにイノシシに出会ったことはなかった。耕作放棄地が広がりイノシシが身を隠す場所が増えたからなのか、手入れをしなくなった森にえさがなくなったのか理由はわからないが少々物騒に思える。

真偽のほどは定かではないが、吉備中央町大和にクマが出没したという。「岡山県北東部の山林にはツキノワグマが生息しているが、中国縦貫道が防御線になっている。何らかの理由で中国縦貫道を越えるともう遮るものはない。倉敷や岡山の市街地に現れても不思議はない。」と津山市に住む同級生が話していたことを思い出した。吉備中央町大和の山とわたしの畑の上の山は地続きでさほどの距離もない。イノシシはまだしもクマには出会いたくないなあと思うと早朝に畑に行くのも考え物だなあと思っている。

